次のページは

連載コラム「視点を変えて」

公開します 3月定例会 審議議案と議員の賛否

議会ホームページでは、平成20年以降の議決結果を公開しています。

上程議案・概要・結果 賛成：○　反対：×　欠：欠席 全賛…全員賛成で可決・認定・採択　賛多…賛成多数で可決・認定・採択 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択	結果	権田孝史	保泉周平	大北久勝	笠原則夫	中嶋文雄	吉澤康広	大澤博	津久井康雄	鈴木詠子	峯岸克明	岡本安明	佐藤理美	稲山良文	原口孝	田母神節子	吉田正美
専決処分　＊専決処分とは…緊急性が高く議会を招集する時間的余裕がないこと等を理由に、町長が議決を経ずに処理すること。（専決処分したものは、町長が次の議会で報告し、承認を求めることになっています）																	
令和2年度寄居町一般会計補正予算（専決第4号） 新型コロナウイルスワクチン接種事務に係る所要額について1650万2000円の増額補正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	（注）議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長裁決」として表明。	○	○	○	○	○	○
令和３年度 寄居町歳入歳出予算																	
一般会計　111億6344万1000円（前年度比3.8%減）	賛多	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	×	○
国民健康保険特別会計　36億8050万7000円（前年度比1.1%減）	賛多	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	×	○
後期高齢者医療特別会計　4億1458万9000円（前年度比1.9%増）	賛多	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	×	○
公設浄化槽事業特別会計　2335万9000円（前年度比36%減）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
水道事業会計 収益的収入9億7572万1000円　収益的支出9億1888万円 資本的収入1億591万円　資本的支出8億5634万1000円（前年度比14.5%増）	賛多	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	×	○
下水道事業会計 収益的収入6億948万9000円　収益的支出5億9925万3000円 資本的収入2億4872万9000円　資本的支出3億8850万3000円（前年度比6.5%減）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
条例の制定・改正																	
寄居町課設置条例の一部改正 健康福祉課を福祉課に改め、保健予防に関する事務を行うため新たに健康づくり課を設置する	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町犯罪被害者等支援条例の制定 犯罪被害者等を支援するため、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正 社会福祉法人俊仁会へ町職員を派遣するため、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町職員の給与に関する条例の一部改正 災害等により指定管理職員が臨時又は緊急時に勤務した場合に支給する手当について規定の整備を行う	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町国民健康保険税条例の一部改正　地方税法施行令の改正に伴い、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町民ホールの設置及び管理に関する条例の制定 寄居町民ホールを設置するため、規定を整備。　※詳細はP.23	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町立保育所条例の一部改正　用土保育所の廃止に伴い、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金の支給に係る適用期間を延長するもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町道路占用料徴収条例の一部改正 電線共同溝に係る道路占用料について、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町簡易水道事業を寄居町水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定 金尾地区簡易水道事業と風布・小林地区簡易水道事業を寄居町水道事業に統合することに伴う関係条例の整備を行う	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
令和２年度 寄居町補正予算																	
一般会計　［5回目］　4099万3000円（0.3%減額） 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づく地方創生臨時交付金を活用した事業の追加や、事務事業の確定などに伴う事業費の追加・更正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
一般会計　［6回目］　800万円（0.1%増額） 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業に取り組むため、所要額を追加	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計　［5回目］　144万8000円（0.04%減額） 保険給付費の動向等に伴い、所要額の補正を行うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
下水道事業会計　［3回目］ 収益的収入353万2000円増額　収益的支出331万2000円増額 資本的収入37万6000円増額　資本的支出589万3000円減額 職員人件費や事業費の変更に伴い、所要額の補正を行うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
令和３年度 寄居町補正予算																	
一般会計　［1回目］：2億4835万4000円（2.2%増額） 新型コロナウイルスワクチン接種事務にかかる予算について、所要額を補正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
人事・その他																	
寄居町公平委員会委員の選任の同意　任期満了に伴い再任　伴場　力さん（男衾）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
寄居町教育委員会教育長の任命の同意 轟　和男教育長の任期満了に伴い、新たに関根光男さんを任命　※詳細はP.23	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定 寄居町農産物加工施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定する	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止　払下げ申請により1件の路線を廃止	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
町道路線の認定　開発行為に伴い1件、寄居駅周辺街路整備事業に伴い1件を認定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

聴く⇄動く　寄居町議会

委員会レポート

よりよい町をめざして 聴く⇄動く！

今回は各委員会のテーマをさらに深掘りするため、専門家（元消防長・前教育長）から聴き、調査した内容を報告します。

総務経済常任委員会　防災・減災（感染症対策を踏まえた避難行動・避難所運営のあり方）

防災のプロ 専門的見地からの「提案」

寄居町の災害の特徴は風水害で道路冠水等の内水氾濫や崖崩れ土砂崩れ等が発生しやすいが、荒川からの氾濫は少ない傾向にあるという。

大切なことは自宅周辺の避難場所を日頃からハザードマップで確認、マイタイムラインを作成し家族間で共有すること。地域防災力の充実強化には事前準備、事前訓練、意識改革が最も重要だとの説明を受けた。

ギインの視点

①いざという時に備え、安心ではなく安全に目を向ける。

②命を守るためにマイ・タイムライン（行動計画）を作成する。

③大切な家族を守るために地域住民と連携し、防災力のさらなる充実強化。

私もひと言！

地震・雷・火事・台風

寄居町は深谷断層帯もあり、昭和6年に震度5の直下型地震で大きな被害があったんだってね。備えは必要だね。

新井輝夫（あらいてるお）さん（用土）

内水氾濫、土砂崩れに警戒！

田中（たなか）　章（あきら）氏（右）
深谷市（旧川本町）生まれ。東京消防庁に入庁し、多くの現場で人命救助に当たる。深谷消防署長、深谷市消防本部消防長を経て、現在 消防・防災アドバイザー。

轟（とどろき）　和男（かずお）氏（左）
寄居町生まれ。東京都・埼玉県の中学校で理科の教鞭をとる。県・町の指導主事を経て、男衾中学校校長で定年。平成26年から寄居町教育長を務め、令和3年3月31日 任期満了で退任。

専門家から聴く

重要施策としてアクティブラーニングを取り入れた学習やグローバル化に向けた英語教育、考え議論する道徳教育への転換を図ってきた。

今後はタブレットを一人1台導入し、遠隔でも高度で多様な学習に対応。働き方改革では、教員自ら時間を生み出すことが大切で（町教員平均勤務時間10時間44分）、令和4年度から導入される小学校高学年の「教科担任制」は大きな転換点となる、との説明を受けた。

ギインの視点

①AIに負けず人間らしさを残した教育を。

②GIGAスクールにおける教員の指導力向上。

③外部講師を招き、教員の働き方改革進めよ。

私もひと言！

タブレット難しそう！

覚えるのは大変だけど必要なので中学校に入ったら頑張ります。最初の学校閉鎖のときにあればよかった方です。

伊藤梢善（いとうしょうぜん）さん（用土）

タブレットは世界基準

新しい学び「町の教育」をヒアリング

文教厚生常任委員会　これからの学校教育